

遊上秋澤正大河下り如沙飲者也

延寶九年 酉二月九日

右馬伊豫中後費

右馬伊豫公今度去方伊賀家中出入林助之進伊豫
宅下桐部より取上る所中象及金貨は伊賀家中より
為之諸事一と相談は親類縁者より好身と喜仕形
不届き思召候へ願也 右取上る中替痛上り
所預め者也

貞享元年七月

公北并和月書之

公北は山等大寺より持職より補任討將軍家

より書より料紙之折より書より

山等一天龍寺住持職事

但先例可被執替より

年月日左大臣

元章和尙